



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 364

令和7年7月22日（火）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141



子どもの話を聴くときは

校長 後藤 正美

職員研修で紹介した資料です。有名な詩のため、ご存じの方も多いと思われます。どうぞご覧ください。

「子どもの話を聴くときは」 文：篠原久美子
(兵庫県教育委員会 防災マニュアルに基づいて)

- 1、子どもの声を聴くときは、教えてもらおう気持ちでね。
一生懸命、耳傾けて、教えてもらおう、子どもの世界。
子どもの世界の扉はね、内側からしか開かないの。
信じるおとなに向かってね。
- 2、子どもの話を聴くときは、じっくり、ゆっくり、ゆったりね。
言おうと思うと時間切れ、中途半端は苦しいよ。
子どものつらさと言葉はね、
外に出るまで時間がいるの。
待ってる時間も、聴いてる時間。
- 3、子どもの話を聴くときは、「聴いてるサイン」を伝えてね。
あいづちうって、うなづいて、子どもの言葉を繰り返し。
不安な気持ちの子どもはね、小さな合図で安心するの。
「ぼくを分かってくれてるな」って。
- 4、子どもの話を聴くときは、途中で止めたりしないでね。
批判をしったりまとめたり、言い聞かせないでただ聴いて。
おとなが口を開くとね、子どもの口が閉じてくよ。
知りたいのなら、耳、開こう。
- 5、子どもの話を聴くときは、瞳のサインをみていてね
子どもはたいいおとなのね、
目なんか見ては話せない。
それでも分かってほしいとき、瞳で合図を送ってる。
見逃さないで、みていてね。

- 6、子どもの話を聴くときは、顔の高さを合わせてね。
上から見下ろされるとね、だれでもちょっと堅くなる。
視線の低い子どもにね、しゃがんで視点を合わせてね。
子どもが話しやすいから。
- 7、子どもの話に答えるときは、声の調子を同じにね。
大きな声や高い声、おとなのいらいら伝わるよ。
子どもは意味を知らなくてもね、
声で気持ちが分かるんだ。
言葉が出にくくなっちゃうよ。
- 8、子どもの不安を聴くときは、子どもの気持ちを感じてね、
「なぜ？」「どうして？」が、
問いつめに感じてしまうとき、あるの。
子どもの心配、不安はね、
「不安なの？」って繰り返してね。
答えは、一緒に考えて。
- 9、子どもの不安を聴くときは、すぐに原因、決めないで。
「地震のせいだ」「性格だ」、
決めてもそれは答えじゃないの。
子どもを取り巻く世界もね、子どもの心も単純じゃない。
広く大きな視野で見て。
- 10、子どもの悩みを聴くときは、子どもの力を信じてね。
しっかり聴いて、じっくり支え、
色んな見かたのアドバイス。
だけど最後は子どもがね、子ども自身で解決するの。
おとなが信じた子どもはね、乗り越えられるよ、大丈夫。

これは、阪神淡路大震災の後に兵庫県の教育委員会が作った10項目を、劇作家の篠原久美子さんが詩にしたものとことです。非常時だけでなく、いつの時代でも、私たち大人が心掛けたい素敵なメッセージです。私は4と10がお気に入りです。

子供たちがご家庭や地域においても安心して過ごせますよう、じっくり向き合い、充実した夏休みとなることを願っております。